

あるべき税制研究会（４５回）議事録

文責 森信茂樹

６月２０日（月）「地方分権改革、３．１１以降」と題して、前神奈川県開成町長 露木順一氏からお話を聞き、質疑を行いました。

話の概要は以下の通りです。

自分も震災以降現地を訪れ、市町村長と対話する機会があったが、今回の一連の出来事をみると、日本政治の欠点を露呈する内容であった。それは、縦割り行政、役割分担の不明確性、リーダーの不在という点である。

東日本大震災への対応策は、今後の日本再興のモデルにすべきである。具体的には、福島政府での一元的な対応、情報公開の手低、集団疎開移住の検討、脱原発、被災者の社会保障、地域医療体制の再検討である。

以下の議事録本文は会員用メールマガジンで配信します。